

中央日本土地建物グループ株式会社

https://www.chuo-nittochi.co.jp/sustainability/pdf/sustainability_report.pdf



《将来に向けた取組方針》

当社グループは「あらゆるステークホルダーの皆さまとの共創により、人と社会に安心と感動を提供すること」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することをサステナビリティビジョンとして掲げています。

開発事業では、生物多様性への影響を緩和し、生態系の保全に貢献していきます。また、神奈川県平塚市に保有する「生物多様性豊かな“湘南平塚ゆるぎ 里地里山”」は「自然共生サイト」の認定を受けており、今後も里地里山の保全・活用と地域活性化に取り組んでいきます。

●開発事業における取り組み

バウス武蔵境では、マンションの敷地内に70種・1万5,000本超の植栽を施し、地域の四季折々の街並みと調和した庭園やプロムナードが続く「公園街区」を整備しています。

REVZO虎ノ門は、エントランスおよび各階のバルコニーに設けられた多種多様な植栽が創り出す立面などが緑豊かな都市を形成する取り組みと評価され、「港区みどりの街づくり賞」と「港区景観まちづくり賞奨励賞」に選出されています。



バウス武蔵境



REVZO 虎ノ門

●里地・里山の保全・活用

神奈川県平塚市に保有する「生物多様性豊かな“湘南平塚ゆるぎ 里地里山”」において、地元協議会の活動をサポートし、里地・里山の保全と地域活性化に取り組んでいます。また、東京農業大学と連携しワークショップ開催などの活動にも協力しています。こうした「産・官・学・民」の取り組みが評価され、2024年3月に環境省の「自然共生サイト」に認定されました。同時に、当社グループとして環境省主催「生物多様性のための30by30アライアンス」にも参画しました。



菜の花畑生育



トンボの里整備